

# 国際有機農業映画祭 in 久住 2023

久住の大地から未来の種を



12月24日(日)

開場 9時30分

開催時間 10時00分～16時50分

会場

くじゅうサンホール  
(久住公民館大ホール)  
大分県竹田市久住町久住6154

主催

国際有機農業映画祭  
in 久住 実行委員会

お問合せ

090-2318-7815 (吉田)



# 映画の

## 「百姓の百の声」 130分



食べている限り、誰の隣にも「農」はある。なのにどうして、「農」の世界は私たちから遠いのか。

柴田昌平監督が、食の原点である農と向き合った。全国の百姓たちの知恵・工夫・人生を、美しい映像と丁寧なインタビューで紡ぎ出す。

田んぼで農家の人たちが何と格闘しているのか。ビニールハウスの中で何を考えているのか。多くの人が漠然と「風景」としか見ていない営みの、そのコアな姿が鮮やかに浮かび上がる。

今後 経済が下向き、食糧輸入に頼れなくなると予想される日本で、いま必要とされる力はレジリエンシー：復元力。百姓たちには本来これが備わっている。

映画に登場する百姓たちは、小手先では解決しないさまざまな矛盾を、独自の工夫で克服していく。



### タイムテーブル

10:00～	.....	百姓の百の声 130分
12:10～	.....	お昼休み
13:10～	.....	トークタイム
13:50～	.....	タネは誰のもの 65分
15:05～	.....	若者は山里をめざす 104分
16:50	.....	上映終了(予定)



# あらすじ



## 「タネは誰のもの」 65分



2020年 第94回 キネマ旬報文化映画ベスト・テン第7位  
第38回 (2020年度) 日本映画復興奨励賞

## タネは誰のもの

## 「若者は山里をめざす」 104分

都心から僅か60km、バスと電車で80分、標高600メートルの山々が連なる山間に、東秩父村がある。「埼玉県の消滅可能性都市No.1」に指定されたこの村に、都会暮らしをやめ移り住む若者たちが増え始めた。

村出身の西沙耶香さんは、コンビニもないこの村から出たいと高校卒業後上京。だが、ふるさとを消滅させたくない仕事をやめ村に戻ってきた。

自然を慈しみ、人と人の結びつきが強く、お互いのが助け合いながら生きる山里の暮らしを、山里に生きることを選んだ3人の若者の3年を追ったドキュメンタリーを通して伝える。ナレーションは「おしん」の小林綾子さん。

2018年4月 種子法廃止。そして、2020年12月、改正種苗法成立。急速なグローバル化の中で、あらためて問われるタネの権利とは？

2020年6月に国会成立が見送られ、継続審議となった種苗法改定の動きに対して賛否が渦巻く中、自家採種・自家増殖している農家と種苗育成農家の双方の声を伝えるため、北海道から沖縄まで様々な農業の現場取材。政府が拙速に改定を成立させようとしている中、種苗法改定(案)が日本の農業を深刻な危機に陥れる可能性を、専門家の分析も含め農業の現場から探った。



### トークタイム

映画祭の魅力や日本の農村力について、最前線で活躍する3人のトークが面白い！



伊藤洋子さん

福井県池田町在住。日本農村力デザイン大学副学長を務めた。元月刊宣伝会議編集長。池田町で国際有機農業映画祭を定期的に開催。農ある暮らしを大切にしながら、食と農を考える日々を送っている。



久住高原童心回帰農場

「食という字は人に良いと書く」を基本理念とし、命の循環を基とした栽培法で果樹の自然栽培を行うと共に人と自然が一体となって、誰もが童心にかえり、生きている喜びを感じてもらえる農場を目指し、2015年4月より久住にて活動している。

# 入場料

大人

前売 2,000 円  
(弁当代 込み)

高校生以下

無料

当日 2,000 円

※ 当日券、無料券には、  
お弁当は含まれません。  
ご了承ください。

※ 全て1日通し券になりますので、  
出入りは自由です。

※ 前売り入場料には  
お弁当が含まれて  
います。

## 【お問合せ】

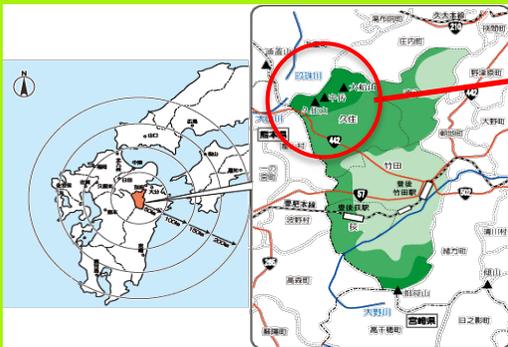
国際有機農業映画祭 in久住 実行委員会  
☎：090-2318-7815

## 【前売券販売】

岡商店：0974-76-0261  
ところ：竹田市久住町（下記地図）

前売券を取りに来れない方は、お取り置きが  
できますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

※ その他、最寄りの取扱い場も紹介しますので、お気軽に実行委員会のお問合せ先までご連絡下さい。



会場：くじゅうサンホール（住所：大分県竹田市久住町大字久住6154）

### 映画祭への思い

この映画祭は、単に農や食といった内容にとどまらず、人と自然との関係やそれを支える価値観、社会のあり方といったところまで視野を広げ、“人間の本当の豊かさとは何か”を感じてもらうことを目的に開催するものです。ドキュメンタリー部門で高い評価を受ける3作品を取り揃えました。日本の地域社会や日常の食卓の“今”が見事に描かれており、きっと皆様の心に大きな共感と深い感銘を与えてくれるものと思います。慌ただしく過ぎる毎日の中、ふと足を止めて映画をご覧いただき、心に吹き込んでくる感動を味わっていただきたいと思います。

国際有機農業映画祭in久住 実行委員会一同